



# 壬生町政カササ

## 住民登録人口

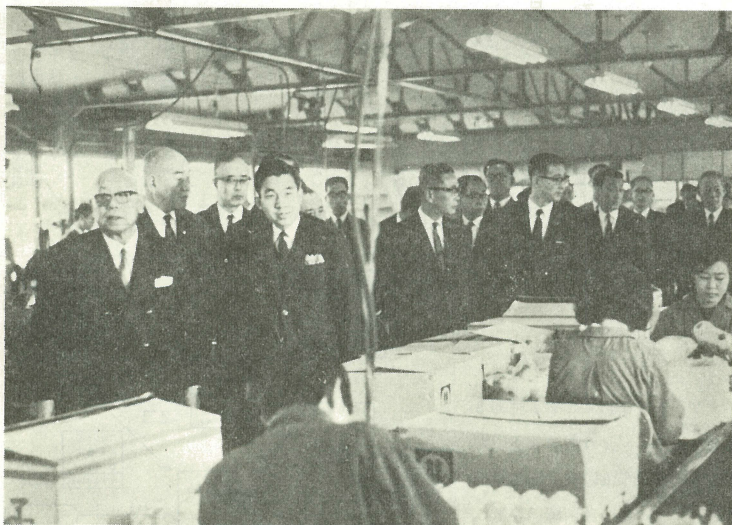
昭和42年11月1日現在		対前月比
総人口	24,700人	113人増
男	12,190人	56人々
女	12,510人	57人々
世帯数	5,250世帯	28世帯増

発行所 栃木県壬生町夜場

(毎月24日発行)

昭和34年9月30日第三種郵便物認可

一部4.7円



## 皇太子殿下おもちゃ団地をご視察

皇太子殿下は、去る11月16・17日の両日県下の産業施設をご視察され、翌17日には特に壬生町のおもちゃ団地をご見学になりました。

団地では、理事長、町長および関係者はじめ、団地の従業員約1,500人がお迎えするなかを9時15分計算センターにお着きになり、理事長から団地の概要について説明をお受けになりました。

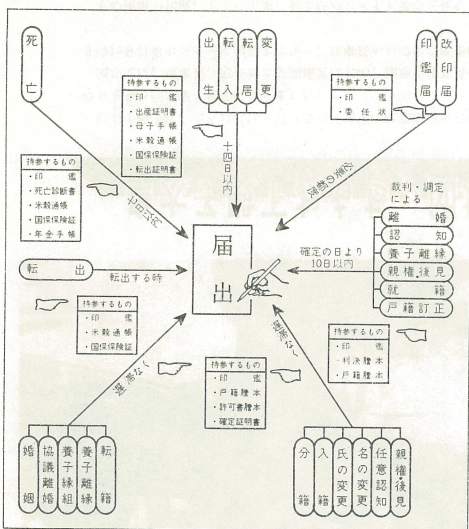
その後第一化成、トミー工業、およびバンダイ工業の三社をお廻りになり、いろいろのおもちゃを手にとって興味深く拝見されました。

なお、おもちゃ団地では、このご視察を記念して、県内の児童福祉施設に収容されている子供たちに、約4,000個のおもちゃを寄贈するとのことです。

写真＝おもちゃを興味深く拝見する皇太子殿下



◇ 届出は必ず期間内にしましょう ◇



届出は住民課窓口 または支所へ

期間内に届出しなと、過料に処せられますから、ご注意ください。

また、届出をしないと、住民票印鑑証明、国民年金、国民健康保険、予防接種など、すべての権利を保証することはできません。

住民基本台帳法が施行

異動するときは必ず届出を



住民登録法が廃止になり、新しく十一月十日から住民基本台帳法が実施された。この法律は、住民の皆さんの日常生活に身近な権利であります。住民票の登録、選挙権の登録、国民健康保険、国民年金、配給所の登録などすべての資格を統一的に登記して皆さんの権利を保護するといふので、それに従ってあらゆる義務も、この基本台帳に記載されているものについて行なわれることになりました。

本町では、昭和四十年三窓口事務の一本化を実施し、町民の皆さんのサービス向上を図ってまいりました。

しかし、基本台帳を常に正確に記帳するには、皆さんの協力がなければなりません。したがって、皆さんの権利の保護、選挙権の登録、国民健康保険の登録は、届出により、基本台帳に記載され、はじめて保証されるものです。この届出は、従って皆さんの権利の窓口で提出しなければならぬ。この届出は、はじめて保証されるものとして、皆さんの権利の窓口で提出しなければならぬ。

### 火災予防は心がかげが大切

●ガストロフ  
●電気暖房器具  
●カセット  
●カーテン

いよいよ冬を迎え、朝晩には暖房器具のほしい季節になってきました。そこで、暖房器具を使用する前にもっと点検しましょう。

●ガスストーブ  
●電気暖房器具  
●カセット  
●カーテン

暖房器具のほしい季節になってきました。そこで、暖房器具を使用する前にもっと点検しましょう。

### 火災予防は心がかげが大切

暖房器具のほしい季節になってきました。そこで、暖房器具を使用する前にもっと点検しましょう。

●ガストロフ  
●電気暖房器具  
●カセット  
●カーテン

### 登記申請は早めに

登記申請は早めに。登記申請は早めに。登記申請は早めに。

登記申請は早めに。登記申請は早めに。登記申請は早めに。

### 道路交通法かわる

道路交通法かわる。道路交通法かわる。道路交通法かわる。

道路交通法かわる。道路交通法かわる。道路交通法かわる。

### 第二回壬生町産業祭

壬生町産業祭。壬生町産業祭。壬生町産業祭。

壬生町産業祭。壬生町産業祭。壬生町産業祭。

- ### 行事
- 農業の部
    - 農産物品評会、畜産
    - 共助会、資料展示
  - 商業の部
    - 特産物の展示「工芸品、副業品」
  - 工業の部
    - 生産製品の展示
- 日時：十一月二十八日、二十九日  
 場所：中央公民館  
 主催：壬生町  
 後援：壬生町農業委員会、壬生町農業協同組合、壬生町農産共進組合、壬生町商工会、玩具工場町地協同組合



**無料 健康診断を受けましょう**  
町民のみなさんの定期健康診断が次の日程で実施されますが、家族の健康を守るためにぜひ住民検診を受けて明るい家庭をつくりましょう。

**住民健康診断日割表**

月	日	実施時間	実施場所	実施地区
12. 5(火)	10.00~11.30	白井忠一宅	本郷、松原	
〃	1.00~ 3.00	藤原義久宅	北原	
12. 6(水)	10.00~11.30	高山平四郎宅	西部、中央、台宿	
〃	1.00~ 2.00	清水与之助宅	下坪	
〃	2.20~ 3.00	石川昭三宅	東原	
12. 7(木)	10.00~11.30	安納政男宅	本坪	
〃	1.00~ 3.00	堀沼公民館	堀沼	
12.11(月)	10.00~11.30	助谷公民館	助谷、助谷原	
〃	1.00~ 3.00	森田一宅	北小林	
12.12(火)	10.00~11.30	渡辺貴禮宅	中泉	
〃	1.00~ 3.00	西沢登宅	上田	
12.13(水)	10.00~11.30	安塚小学校	安塚(一)	
〃	1.00~ 3.00	南犬飼支所	安塚(二)	
12.19(火)	10.00~11.30	五味製餅社	上長田	
〃	1.00~ 2.30	玩具研修所	玩具、東武、アパート	
12.20(水)	10.00~11.30	東小学校	国谷(一)、国谷(二)	
〃	1.00~ 2.30	吉葉秋夫宅	国谷(三)	
12.21(木)	10.00~11.30	中央公民館	壬生全地区	
〃	1.00~ 3.00	東小学校	〃	
1. 8(月)	10.00~11.30	稲葉支所	稲葉全地区	
〃	1.00~ 3.00	高山平四郎宅	〃	
1. 9(火)	10.00~11.30	北小学校	南犬飼全地区	
〃	1.00~ 3.00	南犬飼支所	〃	

◇検診を受ける人=6歳以上の人全部…学校卒業後どこへも動めず家庭にいる人(年齢は制限なし)

**交通功労者を表彰**

栃木県交通安全協会では、去る十月二十一日栃木警察署で、交通功労者の表彰が行われ、今回受表彰は、佐藤鶴七氏はか十七名で、この人たちは交通安全を祈って通行者の交通指導などを行なうに常に警察に協力されている方々です。

受表彰された方は次のとおりです

高久 鶴七 壬生(乙)、四八五  
佐久 良夫 壬生(乙)、二八四  
土橋 秀男 壬生(乙)、〇〇一  
白井 茂 中泉、一六七四  
橋本 武 壬生(一)八〇

**不良マスコミを追放しよう**

不良マスコミを追い追放しよう。不良マスコミに反対する追放しよう。

①青少年指導センターの施設をつくろう。  
②児童遊園地を施設しよう。  
③地域の環境を明るく整備しよう。  
④生徒の道徳精神を教育しよう。

**防犯灯について**

町民が安心して暮らして、明るい町づくりの一環として、町有防犯灯、街灯を百五十七基設置してあります。点滅器の故障や電球が切れたまま放置されている防犯灯、街灯があまりましたら管理を通じて、役場経済課までご連絡ください。

また、最近落石による破損が目立ちますが、通行に不便なばかりでなく、防犯上非常に困ります。

**年賀状は早目に**

今年もあと僅かとなり、年賀状の名簿を整理する時期となりました。そこで今年も年賀状を出すときは、次の点にご協力をお願いします。

◆官製年賀状はがきは別々に東京都内、県内、他県などと明記した紙をそえて、たばかに入れておいて、都道府県各地何々方まで、アパート、団地などは棟番号を記入していただきます。

◆お年玉つき年賀状は、以外のはがきは一通二枚に、お年玉は「年賀」と赤書してください。

◆十一月十五日から取扱いますが、遅くとも二十一日頃までに届けてください。

**お知らせ**

**歳末たすけあい募金運動**

十一月一日から

赤い羽根で親しまれている共同募金運動は、本年も十月一日から十月三十一日までの三カ月間にわたって全国的に展開されていますが、この期間中、とくに十二月には「歳末たすけあい募金」が行われます。

どうか、町民がそろって明るい正月を迎えることができるようみなさんのご協力をお願いいたします。

そして、この協力がたくことになり、

◆お年賀は、自治会長さんを通じてご協力をお願いいたします。

◆赤い羽根で親しまれている共同募金運動は、本年も十月一日から十月三十一日までの三カ月間にわたって全国的に展開されていますが、この期間中、とくに十二月には「歳末たすけあい募金」が行われます。

◆お年賀は、自治会長さんを通じてご協力をお願いいたします。

**中小企業者に 年末融資**

中小企業者、とくに小規模企業者の年末資金調達を容易にするため、今年も年末振興興金の融資を行っています。

この融資額は、法人個人に拘らず三万円以内です。

希望者は、金融機関、足利銀行壬生支店または守部宮富信用金庫壬生支店へご相談ください。

なお、資金の内容は事業経営に必要な範囲資金にかぎります。

**成人式の該当者ほもれなく**

来年の一月十五日に成人式が行われることになりましたが、今度満二十歳になった方は次のことに注意ください。

一、該当者は昭和二十二年四月一日から昭和二十三年四月一日までに生れた方。

二、壬生町出身で町に住んでいない方も希望すれば参加することができます。

三、該当者の基礎調査を自治会長さんを通じて調査していただきますので、満二十歳になった方は必ず確認してください。

八幡さんから喜ばれています。

**キノクを守つて事故をなくそう**

秋の全国交通安全運動が終了した十一月十日藤井小学校では、放課後全生徒を集めて、交通信号機を使って実際道路に出たときと同じ状態で指導が行われました。

また、この日は、二年生から六年生まで生徒が一人一人テストを行なっていました。なかなか成績も良かったようです。

また、信号機の見方にもよって、交通安全の指導もあつたようです。

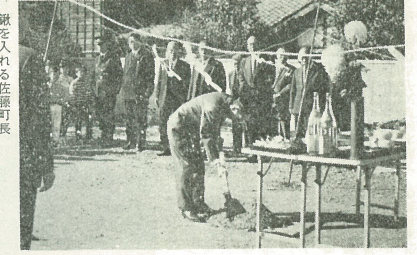
なお、この交通信号機一式は、元町長の佐藤鶴七氏が昨年の春の交通安全月間の際に、壬生小のバレットに参加して、事故の大部分が交通法規の無理解によるものといたく心をうたれた。このほど壬生町交通安全協会(会長奈良部長吉)へ寄附されたもので、管内の小中学校、中学校のほか各団体にも貸し出してしており、たいへん皆さんから喜ばれています。

**電話**

電公公社は壬生町南六町の二方面に無人自動電話四十二台を設置し、昭和二十二年夏頃ダイヤル式になりました。今までは、電話設置の申込みをしてもなかなか入らなかった電話をかけるの思いますが、協力する方々を早く架設できるように、させていただきますようお願いいたします。

**自動式電話は 来年夏ごろ**

便利な電話にするためには、電話線も大幅にふやさなければなりません。そこで昭和二十二年四月から四月三十日まで、市内の電話線路工事を行ないますので、みなさんへ迷惑しないよう、交通やご商売に迷惑しないよう、ご理解をお願いします。



**交通公園の建設はじまる**

壬生町交通安全対策協議会では、事業の一環として、交通公園を造ることになり、このほどその起工式が行なわれました。

この交通公園は、壬生小学校の校庭北すみの約一、〇〇平方メートルに造られます。

公園の内部には、花壇や池などを作り、道路はもろい歩道や信号機をつけた、児童の交通安全の教育を身につけようとするものとして、全国の主要都市へダイヤル式でつくするように、電話線の増設工事を進めています。

**杉ノ木クラブ員が 道路補修**

壬生町の馬場、原宿に住む若い人たちが結成された杉ノ木クラブは、会長鈴木邦巳君ほか十二名で、十一月五日通称馬場新道の約七百メートルにわたって、大きな石を積み出したものです。

この道路は、学生などの通学路でもあって、自転車か玉子で交通が困難なため、このクラブ員の手



**交通指導を受ける生徒たち**

よって奉仕されたものです。このクラブ員のおかげで、勤めている人もあって、貴重な日曜日を使っている行なわれたのです。

また、このほか、ときどき地域の道路補修などを行なっていることで、地域の人たちから感謝されています。



### 自衛官募集

広い知識と教養を身につけ、専門技術を学び、そして日本の平和をなす自衛官になりましょう。防衛庁では、いつでも募集しています。ご希望の方は、役場住民課または支所に申込み下さい。

**◆電線盗難にご注意**

最近かんがい用電力の電線がひんぱんに盗難され、栃木営業区内ですでに五件の被害がありました。

**十二月の納税**  
**固定資産税 第三期分**  
**国保税 第六期分**  
 十二月の納税は、年末のため通常月末納期と異なり、十月二十五日となっていますので、納期限を間違えなく納税してください。

栃木県交通事故相談所  
 電話の五二二一内線四八三

### 説明会

昭和四十二年分の源泉所得税年末調整と役場などに提出する給与支払報告書の説明会を次のとおり行ないます。

● 年未調整関係書類は、当日会場でお渡ししますから税務署の通知書をご持参のうえご出席ください。

● とき 十二月七日（木）  
 午前十時

● ところ 中央公民館  
 ● 対象者 壬生町の全徴収義務者

**訂正**  
 十月号六ページに「米の値段が上がる」の記事中

◇精米十キログラム当り  
 内地米 一、二〇五円  
 徳用米 一、一六五円  
 とあるを  
 内地米 一、一三五円  
 徳用米 一、一八〇円  
 にお詫びして訂正します。

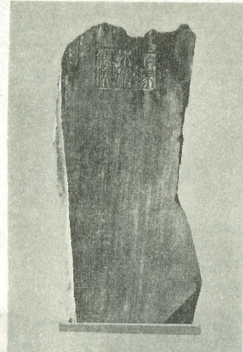


86

### 維新前後の壬生

#### 城下の衰微

慶応三年十月大政奉還となり翌四年九月に明治に改元あり、壬生城主島居氏も東京に引きあげることになった。その時のお触れに「兼て申達置候通り御見送、往還の掃除にも不及、此禮状早々願達云云」とある。その後三万石の城下町として栄えに栄えた壬生町は火の消えたようなさびれ方であった武士は無様となり、百姓は不作の上手間稼ぎの仕事もなく、領内の或村では一軒しかなかった豆腐屋が廃業してしまつた。又万華新の時勢とはいへ旅館屋に女中を置くこと相ならぬあつて女気なく困りはてて、壬生閨三町（通町表町飯塚町）の名主閨屋年寄等の町方役人が連名を旅籠屋にせめて一二名の飯盛女を置かしてもらいたいと嘆願書を出す始末であった。



下馬木の溝梁の記念碑

（以上関係文書が鈴木貞一氏宅にある。）

幕末彰之の打開策の一として先して福業集向から豊川の水を引

にもふれたこともある松本甘晩の至宝地開拓のことがあり、それから五年後下馬木では灌漑用水のため部落民総出で溝梁開墾の大工事が行われ、これ等とやや時代が前後するが関連事項として次の二件を記すことにする。

維新二十数年前壬生領であった次城隈松城郡山川村を統弊のん底から救いあげた信谷郡太夫君雄が勘定奉行として帰壬した後生祠として谷明神という社に祭

て榎木河原天子の地下をくぐり隧道とし水を引くことである。たまたま増田才兵衛、殿塚久米衛門、農業吉五郎、農業丸助、四人の考が一致して四人が主となり部落の者にはかつて所同盟三千人の賛成を得た。事にあつてみると完全な測量機も道具もなく難工事がつづき可成りの苦勞があり、或者酒だちをし塩だちをし働いたが閉結はいよいよ堅く明治四年四月竣工し翌五年五月竣功した。地をくぐること二百三十間地上の水路を合せて千五百六十余間これによって美田二十余町を得た。その後美田は倍増した。もとより之には知澤島居忠文の力添えがあった。明治十四年に取入口の改作等があり現在に至っている。この美田の開拓に某の如きは貧乏の水呑百姓にあきて博奕にあけられたものが開拓後は農事が面白くて當農にはげまようになつたという。事の仔細は同盟者の名と共に神明神社境内に建てられている下馬木溝梁碑に記されている。伊藤久賢の撰文によるものでその中に河洲九里一郷沿沢跡々盛業なる句がある。（福田）